

- I. 経営発達支援事業の6項目
 II. 地域経済の活性化に資する取り組みについて1項目
 III. 経営発達支援事業の円滑に向けた支援力向上のための取り組み3項目
- 評価基準 A:目標を達成することができた。(100%以上)
 B:目標を概ね達成することができた(80%~99%)
 C:目標を半分程度しか達成することができなかった(30%~79%)
 D:目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	令和2年度		実績	評価	項目評価
		目標	実績			
1. 地域の経済動向調査に関する事	(1)地域経済動向調査	20	54	新型コロナウイルス感染症事業者影響調査49社、事業承継ヒアリング5社、合計54社	A	A
	(2)関係機関の機関誌等からの情報収集と分析	2	20	情報提供件数20件(政府系刊行物、各種統計調査等)	A	
	(3)情報交換会の実施	3	3	情報交換会 3回実施	A	
	(4)個社支援を視野にファイル化し、計画策定に向けた情報を集約	10	10	情報分析データの個社ファイル化 10件	A	
2. 経営状況の分析に関する事	(1)巡回訪問を通じた個社のニーズ把握、経営財務情報収集件数	30	57	個社のニーズ把握、経営財務情報収集件数 57件	A	A
	(2)経営・財務分析件数	15	12	外部専門家と連携した経営・財務分析件数 12件	B	
	(3)経営・財務分析結果の共有会議の実施	12	12	経営・財務分析結果の共有会議回数 12回	A	
3. 経営計画の策定支援に関する事	(1)事業計画策定セミナー開催回数(出席者数)	1(5)	17(17)	事業計画策定セミナー(個別)開催回数 17回(17名)	A	A
	(2)事業計画策定件数(内 創業計画、事業承継計画)	12(1,1)	15(1,1)	事業計画策定件数 15件(内創業1件、事業承継5件)	A	
	(3)専門家と連携した事業計画策定支援件数	8	8	専門家と連携した事業計画策定支援件数 8件	A	
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事	(1)事業計画策定後のフォローアップ	40	52	事業計画策定後のフォローアップ回数 52回	A	A
	(2)創業者の事業計画後のフォローアップ	6	7	創業計画策定後のフォローアップ回数 7回	A	
	(3)事業継承後事業計画のフォローアップ	6	10	事業承継計画策定後のフォローアップ回数 10回	A	
	(4)専門家と連携したフォローアップの個別支援	20	34	専門家と連携したフォローアップ回数 34回	A	
5. 需要動向調査に関する事	イ. 地域内の消費需要動向に関する調査(BtoC)	1	0	地域内の消費需要動向に関する調査は実施せず。	D	C
	(1)村内中心商店街のイベント実施による需要動向調査	10(5)	0(0)	"	D	
	ロ. 首都圏など地域外における需要動向調査(BtoB及びBtoC)	-	-	-	A	
	(1)首都圏バイヤーに対する需要動向調査(BtoB)	1(7)	25(2)	首都圏バイヤーに対する聞き取り調査数 25件(2社)	A	
	(2)地域外販路開拓する事業者のための需要動向調査(BtoC)	1(15)	25(2)	消費者聞き取り調査数、バイヤー聞き取り調査数25件(2社)	A	
	ハ. 地域外及び域内の取引共通の消費需要動向	-	-	-	A	
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	(1)外部データの活用による需要動向調査の補完を行う	3	20	外部データの活用による需要動向調査補完 20回	A	A
	イ. 域内需要に資する事業回数	2	7	域内需要に資する事業回数 7回	A	
	(1)村内中心商店街イベント実施回数	2	7	村内中心商店街等でのイベント実施・連携回数7回	A	
	ロ. 域外需要に関する販路開拓の実施	-	-	-	A	
	(1)商談会、物産展等への積極的出展促進(出展件数)	5	4	「ふだいフェア」(イオン盛岡南)他出展件数4件(3回)	B	
	(2)事前個別指導やフォローアップの実施件数	4	16	事前個別相談・フォローアップ 16件	A	
	ハ. 情報提供とネット販売の促進	-	-	-	A	
	(1)本会ホームページ更新と販路開拓に繋げる利用促進	3	9	随時更新9回、全国連「ニッポンセレクト.com」出展5件	A	
(2)IT活用セミナーの開催	1	2	IT活用個別支援実施 2回	A		

II. 地域経済の活性化に資する取り組み

イ. 地域コミュニティ事業	(1)地域資源を活用した旬な食材の調理方法を教える地域コミュニティ事業の実施	実施	実施	「青の国ブランド」に係る商品化、販路拡大、ブラッシュアップの実施	A	A
	(2)ふだいまるごと元気市等のイベント実施	事業完遂	-	事業完遂し、商店街有志によるイベント実施に移行	-	
ロ. 商品開発及び販路開拓の事業	(1)「食べる昆布」『ふだいのすき昆布』のブランド化(売上前年対比10%増を目指す)	実施	実施	ふだいフェア実施1回(盛岡市、2社)、個別商談2回(2社)	A	A
	(2)「ふだいのアンテナショップ」と連携した新商品の販路拡大	2	8	新商品開発・ブラッシュアップ等支援件数 8件	A	
ハ. 体験・滞在型の観光PR事業	(1)体験・滞在型を視野に観光資源と産業視察の実施	実施	実施	全国展開事業により観光プランの立案等実施、継続支援	A	A

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

イ. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	(1)地域の経済動向の把握と資金需要の情報収集	実施	実施	日本公庫八戸支店と情報交換(マル経協議会中止) 2回	B	A
	(2)事業計画策定に個別相談や支援情報収集	実施	実施	岩手県商工会連合会主催の経営力向上支援発表大会、経営指導員等研修に出席	A	
	(3)支援機関との連携によるコーディネート能力の向上	実施	実施	岩手県商工会連合会の専門家派遣事業等を通じて実践	A	
ロ. 経営指導員等の資質向上等に関する事	(1)内部組織での研修及び外部研修での支援能力の向上	実施	実施	岩手県商工会連合会主催の経営指導員等研修の他、各種研修に出席	A	A
	(2)外部及び支援機関等を活用した専門家同行による資質向上	実施	実施	岩手県商工会連合会の専門家派遣事業等を通じて実践	A	
	(3)組織内の経営支援に関する実践OJTの実施	実施	実施	OJTにより実践	A	
	(4)近隣及び広域管内職員の連携による支援能力の強化	実施	実施	岩手県商工会連合会主催の経営力向上支援発表大会、経営指導員等研修に出席	A	
	(5)支援シートを活用した「支援事業者の見える化」	実施	実施	商工会基幹システム、BizMil等のシステム活用により実施	A	
ハ. 経営指導員等の資質向上等に関する事	(1)事務局進捗状況の会議の開催	4	12	月1回、進捗状況確認、打合せ	A	A
	(2)本会正副会長会議の役割	3	3	四半期に1回、進捗状況の報告、評価・見直しの方針を決定	A	
	(3)本会理事会の役割	2	2	評価・見直し結果を報告、承認を得る	A	
	(4)普代商工会経営発達支援推進協議会の開催	1	1	年1回開催、事業実施状況と成果の評価、見直し案の提示	A	
	(5)事業成果をホームページ等で公表する	実施	実施	事業成果、評価・見直し結果をホームページで公表	A	